

# 県政 かわら版

2012

5

No.42

栄町・酒々井町選出  
千葉県議会議員

岩井 やすのり 42歳

岩井やすのりの県政かわら版 No.42 (2012/5月号)



2月定例千葉県議会にて地域の問題について強く訴えました

市町村が地域の実情に応じて行う住民生活の安定や地域コミュニティの再生等のため、県内市町村へ復興基金として、計20億円を交付。被災者住宅再建支援金事業等は2年間の延長が決定しています。

## 東日本大震災への対応

過去最大の2兆8658億円に膨み、県民1人当たりの「借金」は46万7千円に上っています。

千葉県では、小学校3年生までの乳幼児を対象に医療費助成を行ってきましたが、平成24年度は、入院の助成対象を中学校3年生まで拡大するため約59億円を計上しています。なお、平成25年度以降についてまで決定したものではありません。

## 子ども医療費の助成拡大

過去最大の2兆8658億円に膨み、県民1人当たりの「借金」は46万7千円に上っています。

千葉県では、小学校3年生までの乳幼児を対象に医療費助成を行ってきましたが、平成24年度は、入院の助成対象を中学校3年生まで拡大するため約59億円を計上しています。なお、平成25年度以降についてまで決定したものではありません。

県は、子ども医療費入院費助成の中学校3年生まで拡大、私立学校への経常費補助の上乗せ、移動交番の増設等を特色事業としてアピールしていますが、人件費、社会保険料、公債費の義務的経費は増加し、歳出全体の62・1%を占めます。24年度末の県債残高は

会計は2・6%増の1兆60001億800万円で、過去最大規模となっています。

定例千葉県議会にて、24年度当初予算案が可決されました。一般

歳入において、消費や企業収益の低迷により、地方消費税や法人二税（法人住民税・法人事業税）が減額になること等から、県税収入の46億円減が見込まれる一方、歳出においては、社会保障費（218億円増）、公債費（62億円増）、退職手当増による人件費（24億円増）等の義務的経費の大幅な増加が見込まれます。財政調整基金からの60億円の取り崩し、退職手当債154億円の発行により、なんとか財源を確保したという状況です。

## 過去最大規模1兆6000億円

栄町安食（仲町）地区と安食台3丁目を分ける小高い丘。特に切り立つ仲町側のがけが崩れたのは、

昨年3月26日のことです。地鳴りとともに大量の土砂が流れ落ち、所有地を対象とし、今回のような自治近隣世帯の納屋と母屋に被害をもたらしました。

崩壊した土地の一定割合は町有地であり、事故について、予見可能性はあつたとみなされるところ。今回崩落した場所の隣地には、今なお崩壊危険箇所があり、栄町は地元行政として、また土地の所有者として、二次被害の防止策を一

刻も早く講じなければならぬことがあります。

当地の急傾斜地（がけ崩れ）対策事業は、概算で2億円もの費用がかかるのですが、栄町は「急傾斜地崩壊対策事業」による、国・県からの補助を要請しています。

さて、今回の急傾斜地事業については、対象箇所の近隣22世帯から、原則として100%の同意（区域指定）を得なければなりません。土地の利用行為に一定の制限が課されることとなるため、地域での同意集めの可否が今後の焦点なります。また、現在見込まれる、平成26年度からの着工が少しでも前倒しされるよう、引き続き、県・国への要望を行ってまいります。

さらに町内では、栄中学校周辺の下町地区の急傾斜地も問題となっていますが、仲町の件ほどには進捗していません。まずは、地元へのしっかりといた説明が行われるよう、働きかけてま

ります。

栄町安食（仲町）地区と安食台3丁目を分ける小高い丘。特に切り立つ仲町側のがけが崩れたのは、

# 渋滞ポイント 国道296号東酒々井入口交差点

## 時差式信号の設置について

### アウトレットモール開業で

### さらなる渋滞を懸念する声

### 信号時差式化には

### 佐倉からの右折禁止が必要



渋滞の激しい国道296号東酒々井入口交差点

国道296号東酒々井入口交差点については、地元住民や町議員からも多く改善要望がなされてきた深刻な渋滞ポイントです。来年春には「酒々井プレミアム・アウトレット」の開業、酒々井インター住民からは「土日は渋滞で車が動かなくなるのでは」との懸念の声も上がり

ます。

当交差点に右折レーンを設置する等の交差点改良に着手し、平成24年度には隣地の用地取得を行う方向にあります。

しかしながら、改良工事が完成するまでにはなお期間を要するため、信号機の運用変更（時差式信号の設置）等の当面の渋滞緩和策の実施について、千葉県警と交渉を続けてまいりました。

年明けより、交差点近隣の住民に、事情をお伝えし、ご意見を頂戴してきましたが、佐倉からの右折禁止措置の実現はかなり厳しい状況です。

当交差点付近には、民家ばかりでなく営業を行っている事業者もあり、右折禁止による影響が少なからず予想されます。また、佐倉方面から大型車両が進入できなくなることも大きな阻害要因となつて

いるのです。

2月定例千葉県議会一般質問においては、地域の問題として、東酒々井入口交差点の改良工事について、一刻も早い完成を要望いたしましたが、信号の時差式化による渋滞緩和策の実施についても、引き続き、働きかけてまいります。

国道296号東酒々井入口交差点については、地元住民や町議員からも多く改善要望がなされてきた深刻な渋滞ポイントです。来年春には「酒々井プレミアム・アウトレット」の開業、酒々井インター住民からは「土日は渋滞で車が動か

なくなるのでは」との懸念の声も上がります。

当交差点に右折レーンを設置する等の交差点改良に着手し、平成24年度には隣地の用地取得を行う方向にあります。

しかしながら、改良工事が完成するまでにはなお期間を要するため、信号機の運用変更（時差式信号の設置）等の当面の渋滞緩和策の実施について、千葉県警と交渉を続けてまいりました。

年明けより、交差点近隣の住民に、事情をお伝えし、ご意見を頂戴してきましたが、佐倉からの右折禁止措置の実現はかなり厳しい状況です。

当交差点付近には、民家ばかりでなく営業を行っている事業者もあり、右折禁止による影響が少なからず予想されます。また、佐倉方面から大型車両が進入できなくなることも大きな阻害要因となつて

いるのです。

2月定例千葉県議会一般質問においては、地域の問題として、東酒々井入口交差点の改良工事について、一刻も早い完

成を要望いたしましたが、信号の時差式化による渋滞緩和策の実施についても、引き続き、働きかけてまいります。

### 市町村別介護保険料一覧

市町村名	月額保険料	市町村名	月額保険料
千葉市	¥4,887	茂原市	¥4,250
市川市	¥4,660	東金市	¥4,400
船橋市	¥4,190	勝浦市	¥4,829
習志野市	¥4,432	山武市	¥4,844
八千代市	¥3,530	いすみ市	¥4,077
鎌ヶ谷市	¥4,368	大網白里町	¥4,800
浦安市	¥4,100	九十九里町	¥5,000
松戸市	¥4,660	芝山町	¥3,500
野田市	¥4,092	横芝光町	¥4,500
柏市	¥4,200	一宮町	¥4,250
流山市	¥4,590	睦沢町	¥4,400
我孫子市	¥3,642	長生村	¥4,050
成田市	¥3,980	白子町	¥4,200
佐倉市	¥4,700	長柄町	¥4,300
四街道市	¥3,200	長南町	¥4,800
八街市	¥4,400	大多喜町	¥4,300
印西市	¥4,200	御宿町	¥4,000
白井市	¥3,800	館山市	¥4,740
富里市	¥4,200	鴨川市	¥4,998
東庄町	¥4,050	南房総市	¥4,893
銚子市	¥4,025	鋸南町	¥4,709
旭市	¥4,300	木更津市	¥4,738
匝瑳市	¥4,100	君津市	¥4,650
香取市	¥4,100	富津市	¥4,600
神崎町	¥4,000	袖ヶ浦町	¥4,600
多古町	¥4,075	市原市	¥4,590
栄町	¥4,200	酒々井町	¥3,900

町議在職時から続けてきた駅頭、辻立ち活動は、今は印旛郡全体に範囲を広げ、平日は4時半起きて、毎朝欠かさず行っています。駅頭活動9年目となる安食駅はもちろん、最近は酒々井町や印西市内の駅でも温かい声をかけていただき、大きな励みとなっています。これからも初心を忘れず、地域のためにがんばってまいります。

千葉県議会議員 岩井泰憲

## 岩井やすのり 県議会議員事務所

TEL : 0476-36-7799 メール : [iwai-yasunori@dream.jp](mailto:iwai-yasunori@dream.jp)

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前パン屋 2F)

### 介護保険制度の一元化で自治体間格差の解消を

りし、県平均で4423円となりました。

### 県内介護保険料

# 県平均4400円へ

### 自治体間で最大1800円差

わが国の介護保険制度は、制度施行後11年が経過し、サービスの利用者数が施行当初の約3倍となるなど、高齢者の暮らしを支える制度として定着しています。一方で、今後の急速な高齢化の進行に伴い、医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者の増加、単身・高齢者のみ世帯増加への対応、介護人材の確保等が喫緊の課題とな

つています。

国は、4月の介護保険法の一部改正において、24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の新たなサービスの創設、保険料率の増加抑制のための財政安定化基金の取り崩し等の改正を行ふこととしました。介護保険料は40歳になると生涯支払い続ける

ことになるのですが、介護保険財政は年々悪化しており、保険料も引いてスムーズに右折できるように検討した

い」との回答を得ることができたものの、その条件として、佐倉方面からの車両について当交差点での右折を禁止する必要があるとのこと。これは、時差式信号の設置により富里方面からの通行時間が延長される一方で、佐倉方面からの車両にとつては、当交差点で右折するタイミングがなくなり、返つて事故を誘発する可能性があるからとのことです。

### 近隣世帯から

#### 一軒一軒ご意見を伺いました

### 県平均で708円の値上げ

県は、24年度当初予算にて約75億円分の介護保険財政安定化基金を取り崩すことで、県内自治体の介護保険料の増加抑制を図りましたが、

自治体によって、財政率、高齢化率などに差があることから、介護保険料に格差が生まれているのが現状です。3年ごとに改定される介護保険料は、今後ますます値上げとなる

ことがあります。まずは、介護保険制度を都道府県、国で一元化することにより、地域間格差、自治体間格差を解消することが先決だと考えます。

月額保険料が最も高かったのが九十九里町の5千円で、最も安かつたのが四街道市の3200円。その差は1800円となっています。

自治体によって、財政率、高齢化率などに差があることから、介護保険料に格差が生まれているのが現状です。3年ごとに改定される介護保険料は、今後ますます値上げとなることが予想されています。まずは、